

船舶事故等調査報告書

平成23年9月29日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011門第17号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成22年9月22日 08時00分ごろ	
発生場所	大分県別府市別府港 別府観光港東防波堤灯台から真方位199°600m付近 (概位 北緯33°17.7' 東経131°30.3')	
事故等調査の経過	平成23年2月1日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	軽石・石材運搬船 ^{こうあん} 航安丸、380トン	
船舶番号、船舶所有者等	132623、有限会社浜中海運	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷側ビルジキール亀裂及び欠損、プロペラ翼曲損及び欠損	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、別府港において、船首約3.2m、船尾約4.3mの喫水で捨石投入のために位置を調整中、平成22年9月22日08時00分ごろ、船底に衝撃と異音を感じた。 本船は、浸水もなく、船体、機関等に異常がなかったので予定どおり捨石投入作業を行った。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 2、視界 良好 海象：波 ほとんどなし、潮汐 下げ潮の初期、潮高 約2m、満潮時刻 07時40分ごろ	
その他の事項	本事故の発生場所付近は、潜堤（海岸を守るために海面下に設けられる構造物）工事区域であった。 船長は、工事図面から工事区域の水深が約4mであること、及び陸側が浅くなる傾斜した地形であることを知っていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、別府港で捨石投入のための位置調整中、船長が余裕水深を把握せずに工事区域へ接近したことから、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、別府港において捨石投入のための位置調整中、船長が余裕水深を把握せずに工事区域へ接近したため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	